

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2008-191945

(P2008-191945A)

(43) 公開日 平成20年8月21日(2008.8.21)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
G06Q 40/00 (2006.01)	G06F 17/60 234S	3E040
G06Q 10/00 (2006.01)	G06F 17/60 236A	5B285
G06F 21/20 (2006.01)	G06F 17/60 224	
G07D 13/00 (2006.01)	G06F 17/60 510	
G07F 19/00 (2006.01)	G06F 17/60 506	

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 11 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2007-26046 (P2007-26046)
 (22) 出願日 平成19年2月5日 (2007.2.5)

(71) 出願人 000000295
 沖電気工業株式会社
 東京都港区虎ノ門1丁目7番12号
 (74) 代理人 100069615
 弁理士 金倉 喬二
 (72) 発明者 木嶋 雅之
 東京都港区虎ノ門1丁目7番12号 沖電
 気工業株式会社内
 Fターム(参考) 3E040 BA07 CA14 CB04
 5B285 AA01 BA03 CB02 CB52

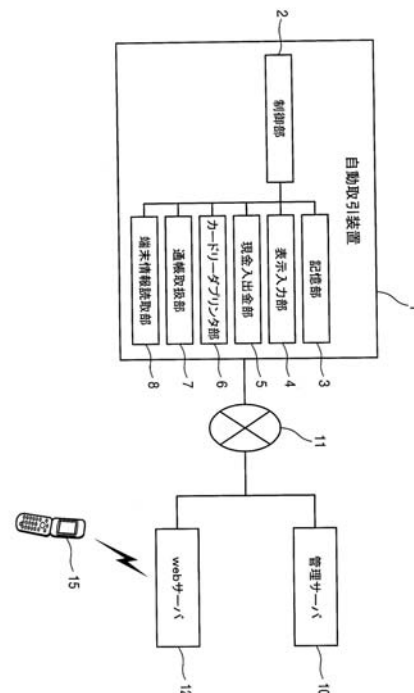
(54) 【発明の名称】 振込取引システム

(57) 【要約】

【課題】振込取引を行う顧客の自動取引装置の占有時間を短縮するための手段を提供する。

【解決手段】自動取引装置1と管理サーバ10とを備え、管理サーバ10は自動取引装置1から受取人電話番号を受信した際に、パスワードを生成して受取人電話番号と関連づけて記憶し、受取人に振込みがある旨とパスワードとを通知しておき、自動取引装置1は受取人から入力された受取人電話番号とパスワードとを管理サーバ10に送信することで、送信した受取人電話番号に関連づけられて記憶されたパスワードと送信したパスワードとの比較結果を管理サーバ10から受け取り、両パスワードが一致していた場合に受取人への振込取引を実行することを特徴とする。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

顧客が振込の受取人の電話番号を入力する入力部を備え、顧客との間で振込取引を行う自動取引装置と、

受取人の確認に必要なパスワードを生成するサーバとを備え、

前記サーバは、前記自動取引装置から顧客により入力された受取人の電話番号を受信した際に、パスワードを生成して記憶すると共に、前記電話番号をもとに受取人に対して振込みがある旨と前記パスワードとを通知し、

自動取引装置は、受取人によりパスワードが入力されたときに、そのパスワードを前記サーバに送信することで、前記サーバに記憶されたパスワードと送信したパスワードとの比較結果を前記サーバから受け取って、両パスワードが一致していた場合に受取人への振込取引を実行することを特徴とする振込取引システム。

10

【請求項 2】

請求項 1 に記載の振込取引システムにおいて、

自動取引装置は、非接触通信によって携帯端末の IC チップに記憶された情報を受信する受信手段を備え、該受信手段によって受取人の携帯端末から前記パスワードの入力を受付けることを特徴とする振込取引システム。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の振込取引システムにおいて、

自動取引装置は、赤外線通信によって携帯端末と通信を行う通信手段を備え、該通信手段によって受取人の携帯端末から前記パスワードの入力を受付けることを特徴とする振込取引システム。

20

【請求項 4】

顧客が振込の受取人の電話番号を入力する入力部を備え、顧客との間で振込取引を行う自動取引装置と、

受取人の確認に必要なパスワードを生成するサーバとを備え、

前記サーバは、前記自動取引装置から顧客により入力された受取人の電話番号を受信した際に、パスワードを生成して、該パスワードと前記電話番号とを関連づけて記憶すると共に、前記電話番号をもとに受取人に対して振込みがある旨と前記パスワードとを通知し、

30

自動取引装置は、受取人により電話番号とパスワードが入力されたときに、その電話番号とパスワードとを前記サーバに送信することで、その電話番号に関連づけられて前記サーバに記憶されたパスワードと送信したパスワードとの比較結果を前記サーバから受け取って、両パスワードが一致していた場合に受取人への振込取引を実行することを特徴とする振込取引システム。

【請求項 5】

請求項 1、請求項 2、請求項 3 または請求項 4 に記載の振込取引システムにおいて、

自動取引装置は、振込取引を行う顧客から取引不成立時に連絡する電話番号を入力させ、その不成立時の電話番号を前記サーバに送信することで該不成立時の電話番号を前記サーバに記憶させ、

40

前記サーバは、取引が不成立となった際に、前記不成立時の電話番号をもとに振込取引が不成立となった旨を顧客に連絡することを特徴とする振込取引システム。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、振込取引において顧客による自動取引装置の占有時間を短縮する振込取引システムに関する。

【背景技術】**【0002】**

従来の振込取引システムは、自動取引装置で振込取引を行う顧客は、振込み金額の他に

50

、振込先の情報として振込先の金融機関名や支店名、振込先口座番号等をタッチパネルによって入力している（例えば、特許文献１参照。）。

【特許文献１】特開２００４－４４８８号公報（段落「００１８」－段落「００１９」、第７図）

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【０００３】

しかしながら、上述した従来の技術においては、振込取引を行うためには振込先の金融機関名や支店名、振込先口座番号等の情報を入力しなくてはならないため、顧客にとっては入力する情報が多いために、全ての情報を入力するまでに時間が掛かってしまい、振込取引を行う顧客の自動取引装置の占有時間が長くなり、自動取引装置の業務効率が低下してしまうという問題がある。

【０００４】

本発明は、上記の問題点を解決するための手段を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【０００５】

本発明は、上記課題を解決するために、顧客が振込の受取人の電話番号を入力する入力部を備え、顧客との間で振込取引を行う自動取引装置と、受取人の確認に必要なパスワードを生成するサーバとを備え、前記サーバは、前記自動取引装置から顧客により入力された受取人の電話番号を受信した際に、パスワードを生成して記憶すると共に、前記電話番号をもとに受取人に対して振込みがある旨と前記パスワードとを通知し、自動取引装置は、受取人によりパスワードが入力されたときに、そのパスワードを前記サーバに送信することで、前記サーバに記憶されたパスワードと送信したパスワードとの比較結果を前記サーバから受け取って、両パスワードが一致していた場合に受取人への振込取引を実行することを特徴とする。

【発明の効果】

【０００６】

このように、本発明は、自動取引装置で振込取引を行う顧客に受取人の携帯電話番号を入力させ、サーバが携帯電話番号をもとに受取人に電話連絡を行ってパスワードを伝え、自動取引装置が受取人からの入力で取得したパスワードをサーバに伝えることでサーバがパスワードの確認を行うので、パスワードで受取人を確認することができ、顧客にとっては入力しなくてはならない情報が少なく済むので、自動取引装置の占有時間が短縮し、業務効率を向上させることができるという効果が得られる。

【発明を実施するための最良の形態】

【０００７】

以下に、図面を参照して本発明による振込取引システムの実施例について説明する。

【実施例１】

【０００８】

図１は実施例１の振込取引システムを示す説明図である。

図１において、１は自動取引装置である。

２は制御部であり、記憶部３に格納された制御プログラムに従って自動取引装置１の各部を制御する。

３は記憶部であり、制御部２が実行する制御プログラムを格納する他、制御部２による処理結果等を記憶する。

【０００９】

４は表示入力部であり、自動取引装置１正面の接客面に露出して設けられており、表示面を上に向けたＣＲＴディスプレイや液晶ディスプレイ等の表示部と、表示部上に配置したタッチパネル等の入力部によって構成され、各種取引における顧客の操作を誘導するメッセージを配した画面や入力キーを表示し、その入力キーをタッチパネル上から指で押下することで入力キーに定義された情報を入力できるようになっており、入力された情報の

表示等も行う。

【 0 0 1 0 】

5 は現金入出金部であり、取引に伴う現金の入出金処理を行うもので、紙幣を取扱う紙幣入出金機と硬貨を取扱う硬貨入出金機とからなり、その紙幣入出金口と硬貨入出金口は前記接客面に設けられている。

現金入出金部 5 の紙幣入出金口と硬貨入出金口は、通常はシャッタによって閉じられており、紙幣および硬貨を受け入れるときや払出す際にシャッタを開いて開放するようになっている。

【 0 0 1 1 】

6 はカードリーダープリンタ部であり、顧客の取引カードの磁気ストライプに記録されているカード情報の読取及び書込みを行う機能を有する他、顧客との取引結果を明細票に印刷して発行する機能を有する。

7 は通帳取扱部であり、顧客の通帳の磁気ストライプに記録されている通帳情報の読取や書込みを行う機能を有する他、通帳に取引結果を印字する機能を有する。

【 0 0 1 2 】

8 は端末情報取得部であり、携帯電話 1 5 が備える非接触式の通信によって I C チップ 1 5 a に記録されている情報を受信して取得する機能を有する。

1 0 は管理サーバであり、金融機関のセンタに設置されて、口座を開設している顧客の氏名、金融機関コード、支店コード、口座番号、暗証番号、口座残高等の顧客情報を格納するサーバ記憶部 1 0 a (記憶手段) を備えており、電話回線や専用回線等の通信回線 1 1 を介して自動取引装置 1 と接続し、自動取引装置 1 との間で通信処理を行う機能を有する。

【 0 0 1 3 】

管理サーバ 1 0 は、振込取引を行う際に振込先となる相手方 (受取人という。) に電話をかけ、振込を行う旨や携帯電話を用いた振込のためのアプリケーションプログラムの取得を促す案内と受取人を確認するために必要なパスワードを説明する音声ガイダンスを出力する機能を有している。

また、管理サーバ 1 0 は上記の受取人の確認に必要なパスワードを生成するための機能を有している。

【 0 0 1 4 】

1 2 は W e b サーバであり、金融機関のセンタに設置されて、受取人を確認するためのパスワードの確認を行うために必要なアプリケーションプログラムをインターネット上で配布するためのサイトを有している。

1 5 は携帯端末としての携帯電話であり、振込取引における受取人が所有し、インターネット上で W e b サーバ 1 2 が有するサイトと接続することで、配布されるパスワードの確認に必要なアプリケーションプログラムを I C チップ 1 5 a に記憶する機能を有する他、そのアプリケーションプログラムを起動した際にパスワードの入力欄等を表示する表示部や、表示部に表示された内容に定義された情報を入力させるための入力部を有する。

【 0 0 1 5 】

I C チップ 1 5 a は、その携帯電話 1 5 の電話番号を記憶している。つまり受取人が所有する携帯電話 1 5 の I C チップ 1 5 a には受取人電話番号が記憶されている。

上述した構成の作用について、図 2 に示す実施例 1 の振込取引システムの動作を示すフローチャートを用い、S で示すステップに従って説明する。

なお、本実施例においては、振込を行う顧客が用いる自動取引装置 1 と、受取人が振込まれる現金を受け取るために利用する自動取引装置 1 とは同一の金融機関の自動取引装置 1 であるものとする。

【 0 0 1 6 】

S 1、自動取引装置 1 の制御部 2 は、表示入力部 4 に出金や入金、振込等の各種取引選択ボタンを配した取引選択画面を表示する。

なお取引選択画面には、後述する携帯電話を用いた振込取引において、現金の受取人が

10

20

30

40

50

振込まれる現金を口座に入れるかそのまま出金するかを選ぶための振込額取扱いの選択キーを表示しているものとする。

【 0 0 1 7 】

S 2、顧客が取引選択画面で振込取引の取引選択ボタンを押下すると、制御部 2 はその押下を認識して、表示入力部 4 に取引カードの挿入を促す画面を表示し、その画面に従って顧客が取引カードを挿入すると、カードリーダープリンタ部 6 によって取引カードから口座番号を讀取って記憶部 3 に記憶する。

S 3、制御部 2 は、表示入力部 4 に現金による振込みか、口座から振込を行うかを問う文言、現金振込と口座からの振込の選択キーを配した画面と、現金の受取人が携帯電話を用いる振込みか、受取人の口座に直接振込むかを選択するように促す文言と、その選択キーを配した画面を順次表示する振込方法選択画面を表示する。

10

【 0 0 1 8 】

S 4、顧客が現金からの振込を選択し、かつ受取人が携帯電話を用いる振込と選択すると、制御部 2 は受取人の携帯電話の番号（受取人電話番号という。）や振込不成立時の連絡先の電話番号（不成立時電話番号という。）、振込金額の入力を促す画面と入力のためのテンキーを配した振込案内画面を順次表示し、顧客によって入力された内容を記憶部 3 に記憶する。

【 0 0 1 9 】

S 5、制御部 2 は、現金入出金部 5 の紙幣入出金口および硬貨入出金口のシャッタを開いて、表示入力部 4 に現金の投入を促す現金投入誘導画面を表示する。

20

また、制御部 2 は記憶部 3 から振込金額を讀み出しておき、顧客によって現金が投入されると、図示しない現金鑑別部で投入された現金の金種毎の枚数を計数すると共に、その総額を計数し、その総額が讀み出した振込金額以上であることを確認してその現金を図示しない現金収納部に収納する。

【 0 0 2 0 】

なお、制御部 2 は計数した総額が振込金額以上の場合には、その差額分の現金を現金収納部から繰出して顧客に払出すものとする。

S 6、制御部 2 は、表示入力部 4 に受取人確認のために振込取引を一旦終了する旨と、振込取引が不成立となった際は入力された不成立時電話番号宛に電話連絡を行う旨の画面を配した振込取引一時終了画面を表示する。

30

【 0 0 2 1 】

このようにして、顧客に対して振込取引一時終了画面を表示することで、顧客との振込取引を一旦終了し、次に振込先となる相手に振込取引を行うことを伝えて振込みを完了するまでを以下に示す。

S 7、制御部 2 は、記憶部 3 に記憶している受取人電話番号、不成立時電話番号、振込金額を讀み出し、これらを付した振込確認指示を通信回線 1 1 を介して管理サーバ 1 0 に送信する。

【 0 0 2 2 】

S 8、管理サーバ 1 0 は、振込確認指示を受信すると、振込取引で受取人を確認するためのパスワードを生成してそのパスワードと受信した受取人電話番号、不成立時電話番号、振込金額を関連付けて振込情報としてサーバ記憶部 1 0 a に記憶する。

40

S 9、管理サーバ 1 0 は、受信した受取人電話番号をもとに受取人に対して振込取引についての電話連絡を行う、つまりこの電話を受けた受取人に対しては、振込が行われる旨や、振込まれる現金を受け取る際に使用するパスワードを携帯電話 1 5 に入力するためのアプリケーションプログラムを当該金融機関のホームページから取得するように促す旨、さらに上記で生成した受取人を確認するために必要なパスワードを音声ガイダンスによって説明する。

【 0 0 2 3 】

この音声ガイダンスは、プッシュボタン方式によって、受取人がその内容を確認したもののとして音声ガイダンスを終了するための操作や、再度音声ガイダンスを出力させるため

50

操作を行うことができるようになっている。

上記の音声ガイダンスによって受取人は、自身の携帯電話 15 でインターネット上の金融機関のパスワード確認に必要なアプリケーションプログラムを取得するためのサイトに接続すると、Webサーバ 12 はその携帯電話 15 に当該アプリケーションプログラムを配布する。これによって携帯電話 15 は IC チップ 15 a にアプリケーションプログラムを記憶する。

【0024】

受取人は、振込まれる現金を受け取るために電話連絡を受けた金融機関の自動取引装置 1 を利用するために店舗に向かう。

なお、管理サーバ 10 は受取人に掛けた電話が一定のコール数でも繋がらなかった場合には、一旦電話を切って所定時間経過後に再度受取人に電話連絡を行うものとする。

S 10、自動取引装置 1 の制御部 2 は、取引選択画面を表示して待機しており、受取人が取引選択画面から振込額取扱いの選択キーを押下すると、表示入力部 4 に携帯電話 15 に格納したパスワード確認のアプリケーションプログラムを起動させ、パスワードを入力した携帯電話 15 を端末情報取得部 8 に近接させるように促す受取人案内画面を表示する。

【0025】

受取人は受取人案内画面に従って、携帯電話 15 を操作してアプリケーションプログラムを起動させると、携帯電話 15 の表示画面にはパスワードの入力欄やパスワード入力決定キー等を配したパスワード入力画面が表示され、受取人は金融機関から受けた電話での音声ガイダンスで説明されたパスワードを入力し、パスワード決定キーを押下することで、携帯電話 15 は入力されたパスワードを IC チップに記憶する。

【0026】

そして、受取人は携帯電話 15 を自動取引装置 1 の端末情報取得部 8 に近接させる。

S 11、制御部 2 は、端末情報取得部 8 によって受取人の携帯電話 15 の IC チップに記録されたパスワードと、電話番号つまり受取人電話番号とを取得し、そのパスワードと受取人電話番号を付したパスワード確認指示を通信回線 11 を介して管理サーバ 10 に送信する。

【0027】

S 12、管理サーバ 10 は、受信したパスワード確認指示の受取人電話番号をもとにサーバ記憶部 10 a に記憶された振込情報を検索し、該当する振込情報のパスワードを読み出し、読み出したパスワードと受信したパスワードを比較することで両パスワードの一致を確認する。

S 13、管理サーバ 10 は、検索して該当した振込情報の振込金額を読み出し、その振込金額とパスワードの一致を確認した旨とを付した受取人確認結果を通信回線 11 を介して自動取引装置 1 に送信する。

【0028】

S 14、自動取引装置 1 の制御部 2 は、受信した受取人確認結果の振込金額を記憶部 3 に記憶しておき、受取人確認結果からパスワードが一致していたことを認識して表示入力部 4 に受信した振込金額を表示すると共に、振込金額を出金するか口座に入金するかを問う画面と出金キー、口座入金キーを配した受取方法選択画面を表示する。

S 15、制御部 2 は、表示入力部 4 に表示した受取方法選択画面に従って受取人が出金キーを押下した場合は次のステップ S 16 に進み、口座入金キーを押下した場合はステップ S 17 に移行する。

【0029】

S 16、制御部 2 は、出金キーの押下を認識すると、記憶部 3 に記憶した振込金額を読み出し、図示しない現金収納部から繰出して受取人に現金で振込取引を終了する。

S 17、制御部 2 は、口座入金キーの押下を認識すると表示入力部 4 に受取人の取引カードあるいは通帳の挿入を促す画面を表示し、受取人によって取引カードが挿入されるとカードリーダーライト部 6 によって取引カードからカード情報の口座番号を読取ると共に、

10

20

30

40

50

記憶部 3 から振込金額を読み出し、その口座番号と振込金額とを関連づけて通信回線 1 1 を介して管理サーバ 1 0 に送信し、表示入力部 4 に振込取引が終了した旨の画面を表示して振込取引を終了する。

【 0 0 3 0 】

一方、管理サーバ 1 0 は受信した口座番号をもとに記憶している顧客情報を読み出し、その顧客情報の口座残高に受信した振込金額を加えて振込取引を終了する。

なお、上記ステップ S 9 で電話連絡を行っても電話が通じずに、一定期間（例えば 1 日）以内に受取人電話番号をもとに受取人に電話連絡を行うことができなかった場合、管理サーバ 1 0 は振込取引が不成立と認識し、その受取人電話番号に関連付けてサーバ記憶部 1 0 a に記憶している不成立時電話番号を読み出し、その不成立時電話番号をもとに振込を行った顧客に対して振込取引が不成立となった旨の電話連絡を行う。

10

【 0 0 3 1 】

また、上記ステップ S 1 2 においてパスワードが不一致であると認識した場合も、管理サーバ 1 0 は振込取引が不成立と認識し、サーバ記憶部 1 0 a に記憶していたパスワードに関連づけた不成立時電話番号を読み出し、その不成立時電話番号をもとに振込を行った顧客に対して振込取引が不成立となった旨の電話連絡を行う。

以上説明したように、本実施例では、振込を行う顧客には振込先の金融機関名や支店名、振込先口座番号を入力する代わりに受取人電話番号と不成立時電話番号のみを入力させるようにしたため、顧客にとって入力する内容が少なくなるので、自動取引装置の占有時間が短縮し、自動取引装置の業務効率を向上させることができる。

20

【 0 0 3 2 】

また、受取人には振込まれる現金をそのまま出金して払い出すことができるので、受取人が金融機関の口座を持たない場合であっても、振込を行う顧客から受取人への金銭移動が可能となる。

なお、上記実施例 1 においては、自動取引装置は端末情報取得部によって携帯電話の非接触通信で IC チップに記憶された受取人電話番号とパスワードとを受信するものとして説明したが、これに限らず赤外線を用いた通信としてもよい。

【 0 0 3 3 】

その場合、携帯電話に受取人電話番号とパスワードとを記憶するための記憶部や、赤外線による通信を行うための赤外線通信部を設けるようにする。

30

一方自動取引装置には、携帯電話からの赤外線による通信を受付けるための装置通信部を備えるようにする。

そして、管理サーバからの連絡を受けた受取人が店舗に来店して自動取引装置 1 の表示入力部に表示された振込額取扱いの選択キーを押下して、振込金額を出金、あるいは自身の口座に入金する際に、携帯電話に記憶している受取人電話番号とパスワードとを自動取引装置に送ろうとする場合には、携帯電話は記憶部から受取人電話番号とパスワードとを読み出して赤外線通信部によって自動取引装置に送信する。

【 0 0 3 4 】

自動取引装置の制御部は、装置通信部によって携帯電話から受取人電話番号とパスワードとを受信する。このように、非接触通信の代わりに赤外線通信を用いるようにしても上述した効果と同様の効果を得ることができる。

40

また、上記実施例 1 においては、携帯電話を用いた場合を例に説明したが、PDA 等の携帯端末に IC チップや赤外線通信を行うための機能を備えて用いるようにしてもよい。

【 0 0 3 5 】

さらに、上記実施例 1 においては、顧客の口座情報を記憶する管理サーバで振込金額と受取人携帯電話番号との記憶、パスワードの生成、受取人への電話連絡、受取人が自動取引装置に入力したパスワードと生成したパスワードとの比較を行うものとして説明したが、別の連絡用サーバを設けてこれらの動作を行わせるようにしてもよい。

このとき、受取人を確認した後で受取人が振込金額を自身の口座に振込ませる場合、自動取引装置は、挿入された顧客の取引カードあるいは通帳から読取った口座番号と、連絡

50

用サーバから受信した振込金額および振込みを行った顧客の口座番号等を管理サーバに送信して、管理サーバで振込取引のための処理を行うようにする。

【 0 0 3 6 】

また、上記実施例 1 においては、受取人が携帯電話の IC チップに記憶したパスワードと受取人の携帯電話番号を自動取引装置に送信することで振込実行を行うようにしたが、パスワードのみの送信で振込実行が行われるようにしてもよい。その場合に、該パスワードの通知とは別のルートで受取人に、自動取引装置の入力部で入力する第 2 パスワード等を通知するようにしてもよい。それにより携帯端末を他人に拾われても悪用される恐れがなくなる。

【 0 0 3 7 】

10

また、上述した各変形例の組み合わせによる処理を行ってもよい。

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 3 8 】

【 図 1 】 実施例 1 の振込取引システムを示す構成図

【 図 2 】 実施例 1 の振込取引システムの動作を示すフローチャート

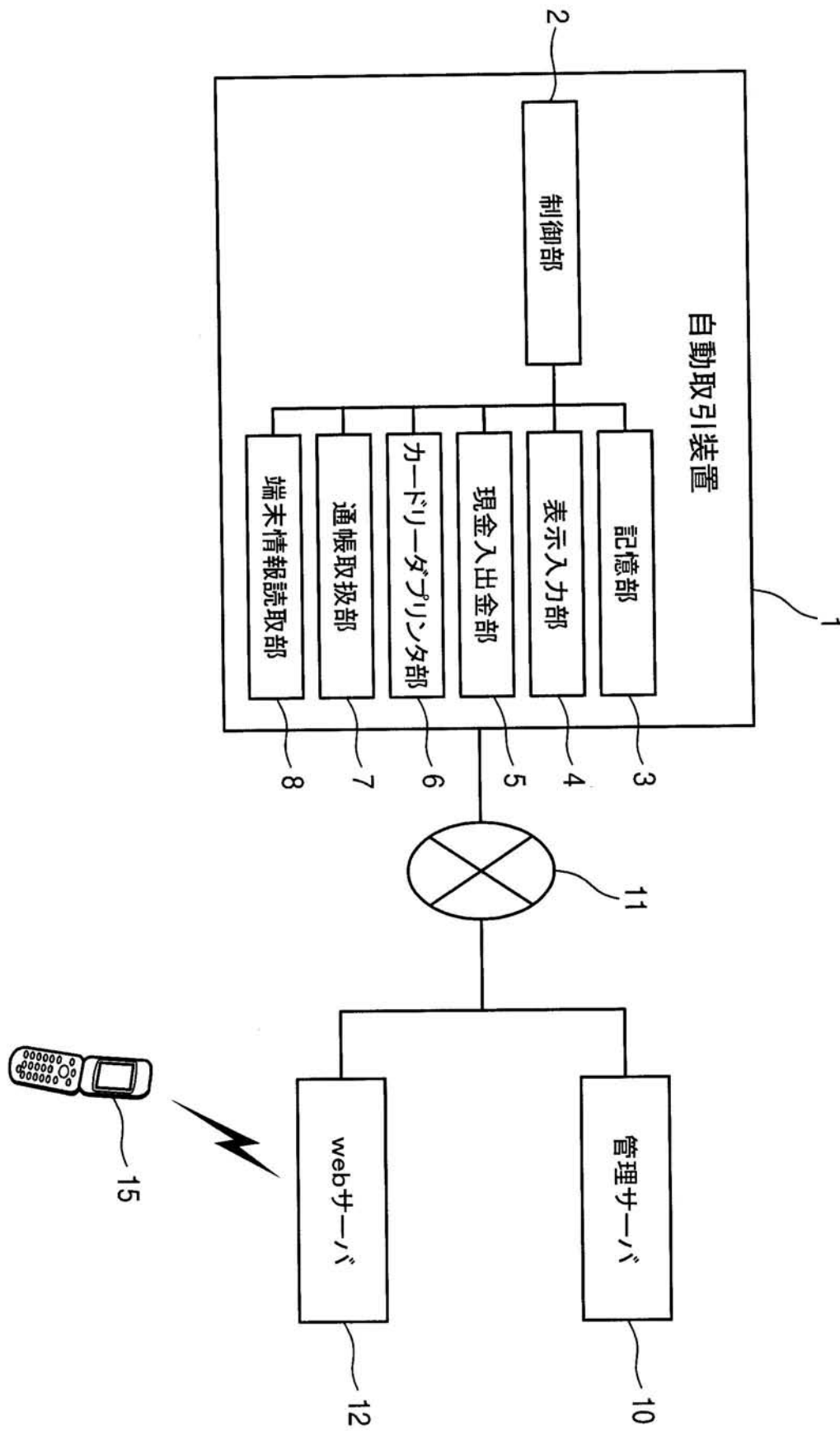
【 符号の説明 】

【 0 0 3 9 】

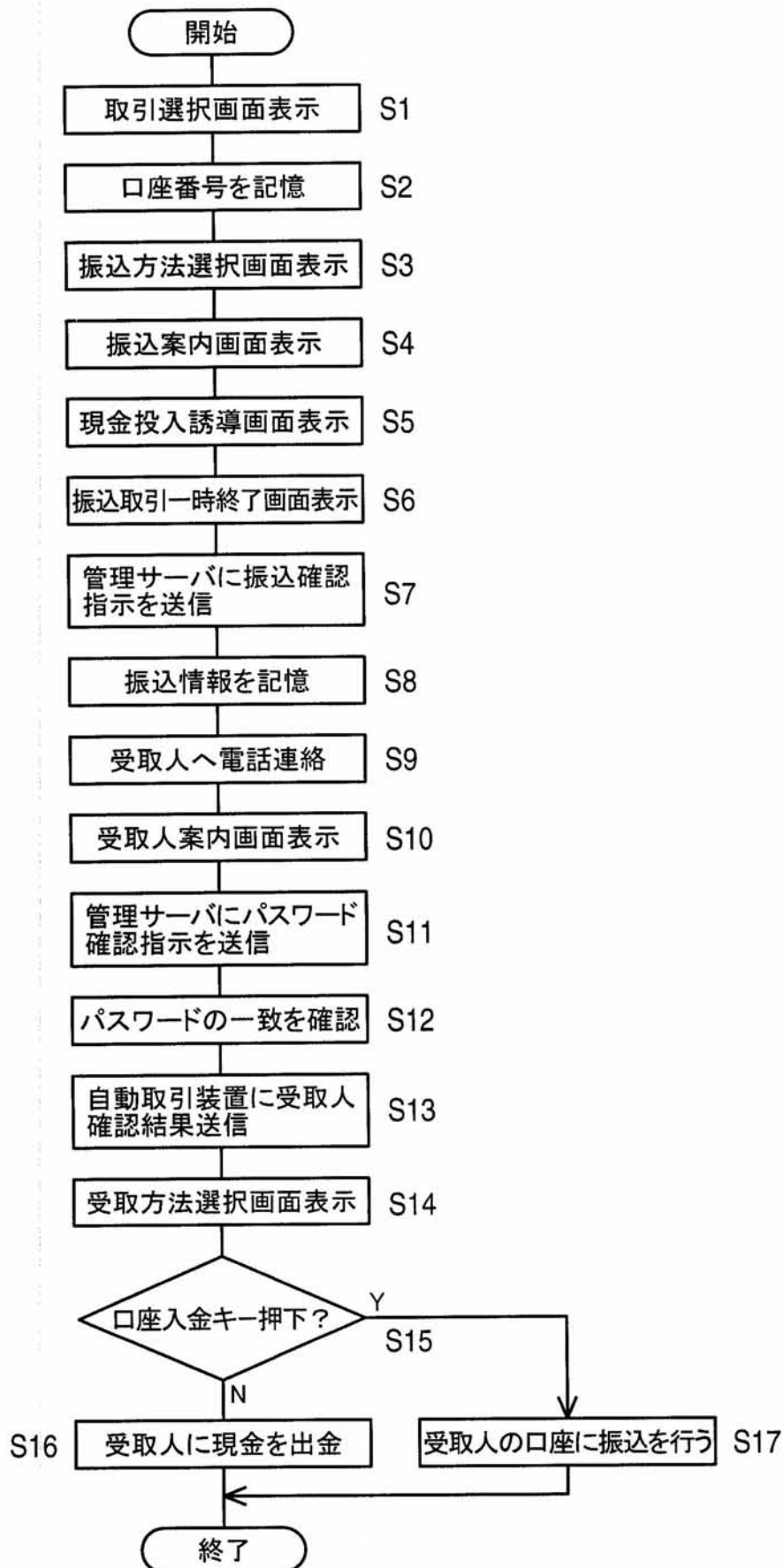
- 1 自動取引装置
- 2 制御部
- 3 記憶部
- 4 表示入力部
- 5 現金入出金部
- 6 カードリーダプリンタ部
- 7 通帳取扱部
- 8 端末情報取得部
- 1 0 管理サーバ
- 1 1 通信回線
- 1 2 W e b サーバ
- 1 5 携帯電話

20

【図 1】



【図 2】



フロントページの続き

(51) Int. Cl.

G 0 7 D 9/00 (2006.01)

F I

G 0 6 F 15/00 3 3 0 B

G 0 7 D 9/00 3 2 1 C

G 0 7 D 9/00 4 5 1 B

テーマコード (参考)